

平成22年12月28日

各 位

株式会社 三井住友銀行

三光合成株式会社の「SMB C環境配慮評価私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、三光合成株式会社（代表取締役社長：黒田健宗）の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」を買受け致しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じ社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価私募債」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況の評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する私募債です。

今回対象となった、三光合成株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境負荷の把握の状況」「環境マネジメント」の面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境取り組みを実施されているとの評価となりました。

特に、①国内の6事業所でISO14001認証を取得し、基本的な環境負荷の数値把握を行った上でCO<sub>2</sub>排出量原単位の年2%削減や廃棄物排出量の年1%削減といった目標を設定し、全社的な環境経営を推進されている点、②CO<sub>2</sub>排出量削減については、製造機器を油圧式から電気式に変更して機器使用に係る電気量を半減されるなど、省エネ機器への転換を進められているほか、省エネに貢献する技術の導入にも積極的に取り組まれてきた点、③プラスチック成型加工メーカーとして車両などの軽量化に貢献されてきた他、次世代営業部や次世代技術部の立ち上げによる製品の軽量化に貢献する部品の積極提案や、植物由来原料の開発等、常に新規技術開発を行われている点等が評価されました。

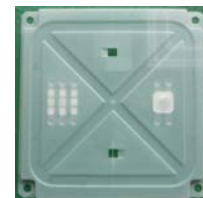
三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価私募債」により、環境配慮を進める企業の取組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動を支援して参ります。



省エネ電気式射出成形機



リチウムイオン電池用軽量  
プラスチックケース



車両用フロア・アンダー・カバー製品試作品  
拡大発泡成形により  
従来比3~4割軽量化達成

以 上